

INFORMATION

プラネタリウム冬の番組

小惑星—知られざる小さな星たち—
小惑星の知られざる素顔と、小惑星の衝突から地球を守るための取り組みについてクイズを交えながら紹介します。

12月15日(土)→4月7日(日)

平日	16:00
土曜日	13:30 17:30
日・祝日	11:30 15:30

※冬・春休み平日は日・祝日と同じになります。

今夜の星空

今夜の星空の見どころを生解説でご紹介。

土曜日	15:30
日・祝日	13:30

※冬・春休み平日の13:30にも放映します。

キッズアワー

幼児～小学校低学年向け番組。

第2・4土曜日	11:30
12月「クリスマスものがたり」	
1月・2月「月旅行」	
3月「星座はじめて物語」	

MUSIC PLANET

ミュージック・プラネット

満天の星と心地よいサウンドが織りなすファンタジックなひとときをどうぞ。

12月「ジャネット特集」

1月「矢野顕子と宮沢和史 (THE BOOM) 特集」

2月・3月「Chemistry特集」

土曜日	19:00
12月15日	
1月12日・26日	
2月9日・23日	
3月9日・30日	

■料金 (入館料を含みます)

大人400円/小・中学生150円/幼児50円
第2・4土曜日は小・中学生以下無料

■休館日・休演日

月曜日(祝日は開館)/第2・4火曜日
12月28日(金)～1月4日(金)(年末年始)
1月29日(火)(機器保守点検のため)
4月10日(水)～12日(金)(番組入替えのため)

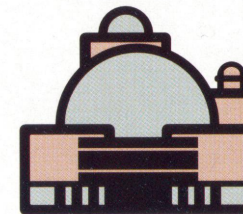


探査機ニア・シューメーカーが撮影した小惑星「エロス」(NASA)

PLANETARIUM

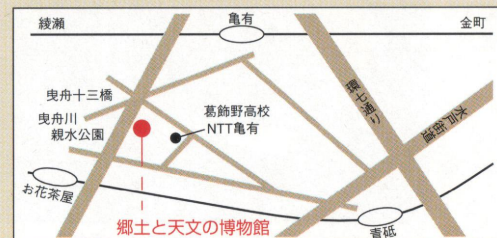
小惑星—知られざる小さな星たち—

Vol.43 2002・冬



KATSUSHIKA CITY MUSEUM

交通のご案内



- 京成線【お花茶屋】から8分
- JR常磐線【亀有】から25分
- 京成タウンバス
(有57 亀有一タウンバス車庫)
[共栄学園] 下車徒歩5分
- 駐車場に限りがございます。
電車・バスをご利用ください。

インターネット・ホームページ <http://www.obs.misato.wakayama.jp/~katusika/index-j.html>

葛飾区



葛飾区郷土と天文の博物館

〒125-0063 東京都葛飾区白鳥3-25-1

TEL 03(3838)1101

R100

このパンフレットは再生紙を利用しています。

冬の五角星・ぎょしゃ座。



■足が不自由な王、エリクトニウス

ギリシア神話では、ぎょしゃ座になったのはアテネの王エリクトニウスだと言われています。彼は足が不自由な火と鍛冶の神、ヘファイストスの子供で、生まれた時から父親と同じく足が不自由でした。やがてアテネの王となったエリクトニウスは、不自由な足をカバーするために自ら四頭だての戦車を作って乗り回していたので、星になってから「ぎょしゃ座」と呼ばれるようになりました。

■冬の空に輝く五角形

ぎょしゃ座は主星カペラを一角にした、少しひしゃげた五角形がシンボルマークです。見つけやすいので、一度覚えたら忘れませ

ん。中国でもぎょしゃ座の星の並びは「五車」と呼ばれています。ところが1930年の国際天文学連合で、この五角形を作る星の一つ、お隣のおうし座に取られてしまいました。ぎょしゃは星座になってからも片足を取られてしまったのです。でも、冬の空に五角形を見つけたら、それがぎょしゃ座という探し方は変わりません。

光度0.1等のカペラ（めすやぎ、という意味）は「虹星」とも呼ばれています。10月の宵のころから東の地平線に昇ってくるカペラは激しくまたたき、時折赤、青、紫、などと色が変わって見えるからです。これは、空気が分光器の役割をしているためで、カペラ自身が色を変えているわけではありません。

小惑星と私たち

太陽系の天体の中では注目されることも少ない小惑星。でも、私たちと小惑星とはまったく関係がないわけではありません。小惑星と私たちとの意外な関係をご紹介します。

■小惑星がせまる！

太陽系には9個の惑星のほかに、小惑星や彗星などのたくさんの小さな天体が太陽のまわりを回っています。

小惑星の多くは火星と木星の軌道の間にあります。中にはもっと内側であって地球に近づく小惑星もたくさんあります。たとえば1994年12月に接近した小惑星は、地球からわずか11万km、宇宙の広さから言えばほとんど衝突といってもいいぐらいの距離を通り抜けました。

もしも、このような小惑星が地球に衝突したら、巨大な津波や大地震が起きるだけでなく、衝突でまき上げられたチリによって太陽の光がさえぎられ、地球は冷たい世界になってしまいます。多くの生物が絶滅することになるかも知れません。

幸い今知られている小惑星で、近い将来地球に衝突するものはありません。しかし、まだ発見されていない小惑星もたくさんあります。私たちの地球を守るため、世界のいろいろな国で小惑星の観測が行われています。



地球に小惑星が衝突したら…。(想像図)

■小惑星にせまる！

小惑星には、私たちの太陽系が作られた頃の物質が変化しないで残っているとされています。そこで、探査機を使って小惑星のかけらを持ち帰って調べようという『ミューゼスC』計画が日本で進められています。

探査機『ミューゼスC』は2002年に打ち上げられ、2005年に小惑星『1998SF36』に接近します。そして小惑星に弾丸を打ち込み、飛び散ったかけらを集めて、2007年に地球に持ち帰ることになっています。

『ミューゼスC』が持ち帰った小惑星のかけらから、私たちの太陽系のもとなった物質がどのようなものなのか、そして太陽系が作られたころの様子はどんなものだったのかがわかるかも知れません。



小惑星に接近する日本の『ミューゼスC』。(想像図)